

多文化共生



2026
を考える
研修会

兵庫県には、約160カ国・地域、約15万5千人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会が増えています。

文化や言語、生活習慣、歴史的背景の違いを認め合い、互いに尊重しあう多文化社会の実現をめざし、今回で26回目を迎える「『多文化共生』を考える研修会」を下記内容で開催します。

今回の研修会では、多様性のおもしろさ、教育現場での実践、国内外の移民・外国人の現状、排外主義の問題、そして映画を通じた共感の可能性など、多文化社会をめぐる幅広いテーマを扱います。社会の中で届きにくい声に耳を傾け、多様な人々がともに生きるための理解につなげていくために、皆さんとともに考える機会とします。

第1回 8/17<月>

ZOOM

総論 ～多様性への共感と排外を分ける要因～

13:00～13:05 主催者あいさつ

13:05～14:30

「多様性をおもしろがる人を増やす」

金井 真紀<文筆家・イラストレーター>

14:45～16:15

「排外主義とは何か」

竹沢 泰子<関西外国語大学教授/京都大学名誉教授>

第3回 8/21<金>

ZOOM

急増する移民・外国人への社会統合の取り組み

13:00～14:30

「多文化化するデンマークの社会統合」

坂口 緑<明治学院大学教授>

14:45～16:15

「増加するネパールの動向と今後」

オジャ・ラックスマン<沖縄ネパール友好協会代表・幹事長、株式会社グローバルネットワーク沖縄代表取締役>

第2回 8/19<水>

ZOOM

外国ルーツの子どもによりそう教育支援

13:00～14:30

「全国在日外国人教育研究協議会のあゆみと取り組み」
米田 浩之<全国在日外国人教育研究協議会事務局長>

14:45～16:15

「違いが力になる教室へ：トルシーダの活動から見える多文化多言語の子どもたち」

伊東 浄江<特定非営利活動法人トルシーダ代表理事>

第4回 8/22<土>

対面開催

排外ではなく共感・共生へ

13:00～14:30

「現場でみた排外主義」

矢追 健介<毎日新聞記者>

14:45～16:15

「映画を通じて知ることから始まる共感」

藤元 明緒<映画監督>

お申し込み方法

<https://forms.gle/AoRFV6gtd1CuBrCX6> または右記QRコードよりお申し込みください。

※やむなく欠席される場合には、キャンセル待ちの方に回しますので4日前までにご連絡ください。

※申し込み多数の場合は県内在住・在勤者を優先します。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

開催方法 第1回～第3回：オンラインZOOM(当日までにZOOMの招待状をお送りします)

第4回：対面開催 場所 中央区文化センター (〒650-0031 神戸市中央区東町115番地10階)
(各線三宮駅から徒歩6分 神戸市役所西側)

お問い合わせ

NPO法人 神戸定住外国人支援センター(KFC) TEL:078-612-2402 E-mail:kensyu@social-b.net

主催：(公財)兵庫県国際交流協会/NPO法人神戸定住外国人支援センター(KFC)/兵庫県/兵庫県教育委員会/神戸市

後援：ひょうご国際交流団体連絡協議会

お申し込みフォーム



参加費
無料

1回だけでも
参加できます
(各回定員60名)

お申し込み締切

8/8<土>